

ライト自身について

私は数年前、レーモンド事務所出身の建築家、三沢浩先生と数回にわたってアメリカでライトの建物を視察した。ライトの建築に直面し感じた、その思いを述べたいと思う。限られた文面に全ては書き表せないが、少しでも雰囲気を感じて頂ければ幸いに思う。今回は、当然ながら彼の建築と密接に関わる、波乱万丈のライト自身の人生を簡単に巡ろう。



フランク・ロイド・ライトほど世間を騒がせた建築家はいないだろう。誕生の地はウィスコンシン州リッチランドセンター。音楽師兼宣教師の父、ウィリアム・C・W・ライトと、母、アンナ・ロイド・ジョーンズ・ライトの長男として生まれた。ライトの主張によると、1869年のことである。だが、ある家族の記憶では1867年であり、ライトによる年齢詐称との説もある。

故郷の州立大学土木科へ進学するが半年で中退し、シカゴへ移り住み、サリヴァンの事務所に勤めるが、内緒で住宅設計のアルバイトをしたことで恩師の逆鱗に触れ、独立することとなる。それから数々のプレイリーハウスを手掛け、ユニティー教会を完成させる。

その翌年（1909年）のチェニー夫人との駆け落ち事件に始まり、二人の境遇ゆえシカゴに戻れず居を構えたタリアセンは、1914年の放火と使用人による惨劇の事件と続く。その後もミリアム・ノエルとの結婚、離婚、訴訟の連続、そしてオルギバンナ・ラズビッチとの結婚、訴訟、逃亡、拘留など、連続する幾つものスキャンダルに加え、タリアセンでは2度の火災を被り、借金で差し押さえにも遭っている。

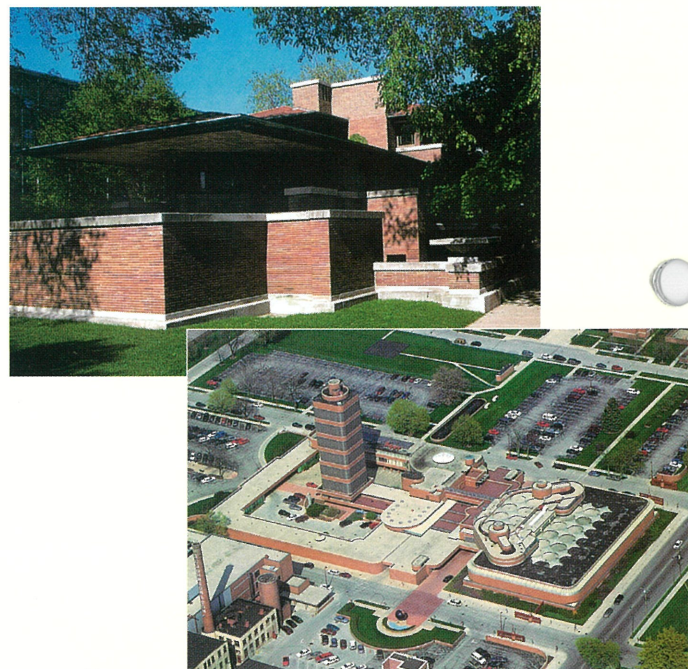
一方で、日本では版画を買い求め貨車3両を満たしたというほどで、一時は版画のディーラーとなり、その審美眼を買われて数千枚を幾回にもわたって美術館へ納めも

した。ライトはその間、帝国ホテル、西海岸での一連の住宅、落水荘、グッゲンハイム美術館等々の名作を世に送り出している。

夏期にはタリアセン・イーストで創作活動を行い、冬季の11月から4月まではタリアセン・ウェストへと、トレーラー2台分の家財を乗せて片道約300キロをフェローたちと共に移動し、生活をしている。私達が今、追体験したとしても相当の労力だろう。

ライトの最期は1959年4月9日、アリゾナ州フェニックスで91歳という壮大な生涯を閉じ、ウィスコンシン州スプリング・グリーンのタリアセン・イーストの広大な敷地内にある、礼拝堂の簡素な墓地に葬られたとされている。

長い一生の間、ライトが手掛けた建築はアメリカ全土のみならず遠く日本にまで及び、430以上にのぼっている。机上のプロジェクトに至っては数百まで達し、世界のあらゆる都市へ巡らせたライトの構想は壮観である。大いなる建築家の生涯であった。



参考文献

★三沢浩著 「フランク・ロイド・ライトのモダニズム」(彰国社)

★Iain Thomson著

「Frank Lloyd Wright A Visual Encyclopedia」(Thunder Bay Press)

建築士

IROSHIMA

SUNSTAR
Sunstar Hall

表紙写真について

坂町立町民交流センター「Sunstar Hall」

- 設計施工／(株)竹中工務店
- 所在地／安芸郡坂町坂東
- 構造規模／S造 一部RC造 地上4階建て
- 敷地面積／4,733.13㎡
- 建築面積／2,674.31㎡
- 延床面積／5,709.51㎡
- 竣工／平成26年7月



坂町に、健康的で文化的な住み良いまちづくりに寄与する町民交流センター「Sunstar Hall」が完成しました。球技などの公式試合ができる 1,010 席の移動観覧席を装備したアリーナと、町民の活発な文化活動を促進する文化施設を有し、隣接する坂小学校との一体的運用が可能な避難拠点として機能します。建物名称は、創業者が坂町の出身者であるサンスター(株) にちなんで名付けられました。

表通りに面して大きく開けた「街角ひろば」は、ケヤキのシンボルツリーとアプローチの大庇が来館者を迎え入れ、誰もが立ち寄りやすい、開かれた坂町の新たな施設として、坂町民のつながりを育みます。



CONTENTS

新年のご挨拶	3
今年の抱負	4
作品紹介	7
尾道特集	
「ONOMICHI U2」	12
「ONOMICHI U2」にみる地元の想い	13
「平成27年度 青年・女性建築士の集い 中四国ブロック 広島大会」に向けて	13
地域だより	
福山 「野田正明氏講演会」& 「平成26年度改正基準法講習会」に参加して	14

地域だより	
福山 「柿波染め体験学習会」の報告	15
呉 「身近な防災を楽しく学ぶ」講習会	16
尾道 「住宅相談会」	16
事務局より	
広島土砂災害への義援金報告ほか	17
建築士会全国大会「ふくしま大会」に参加して	17
賛助会員紹介	18
フランク・ロイド・ライトに魅せられて ～1～ 「ライト自身について」	20

新年のご挨拶

公益社団法人として そして社会の一員として

公益社団法人広島県建築士会 会長

元廣 清志



新年明けましておめでとうございます。昨年は広島県建築士会へのご支援をいただき、心からお礼申し上げます。おかげ様で、会の運営は順調に進んでおります。

25年度4月より、広島県建築士会は公益社団法人としてスタート。これまでは主として会員建築士への情報提供や研修会・親睦行事などの活動を行ってまいりました。しかし公益社団法人化に伴い、すべての建築士の自律的管理や建築士職能についての情報を世間に開示する責務や、建築のあり方などについて、専門領域からの責任ある情報発信を行うなどの公益的活動にも力点を置いてまいりました。2年目を迎える年に、少しずつですが、その形が確かなものになりつつあるように感じております。

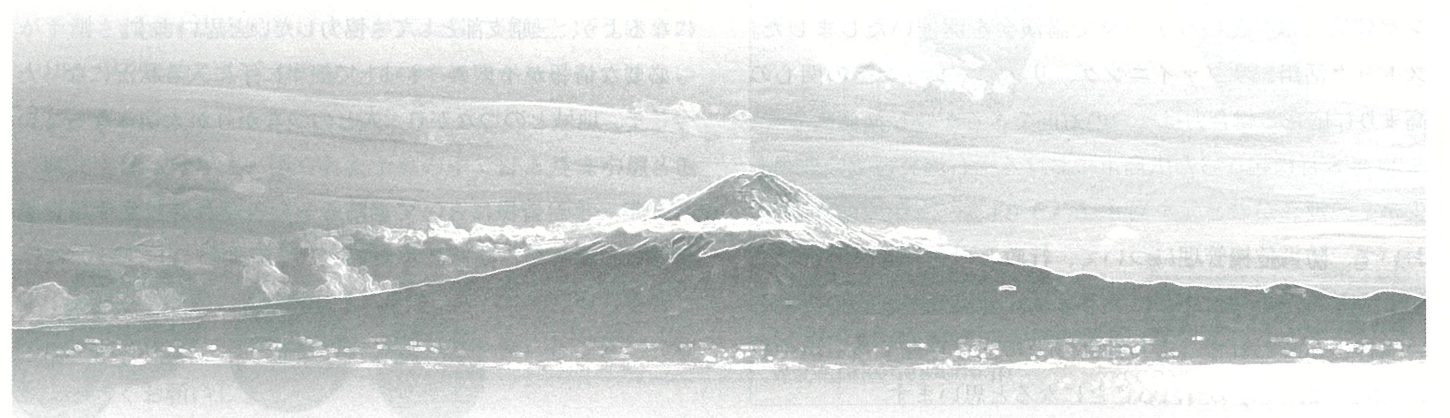
広島市では昨年8月20日、未曾有の土砂災害が発生し、多くの方が被災されました。建築士会では8月26日、国交省のご指導を得て、相談窓口を市内各区に設置。建築士を安佐南区役所、安佐北区役所に配置し、他の建築関係団体(11団体)と共に、災害復旧の対応に当たってまいりました。そして10月20日で現地配置は終了させていただきましたが、公益法人の役割の一端として、少しも市民の皆様にご寄り添うことができたのではないかと考えております。あらためて、お亡くなりになられた方々に心よりのご冥福をお祈り申し上げますと共に、一日も早い復興と、被災された方々が一日も早く安全・安心な生活を取り戻せるよう、お祈りいたしております。

昨年は「ひろしま住宅建築フェスティバル2014」も開催され、公益的イベントとして無事、盛大に終了しました。関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。また、各種講習会や建築士試験の受託に加えて、「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」「広島県木造住宅生産体制強化推進協議会」などの建築関連ネットワークの主幹事務局としても活動。広島県で取り組む「魅力ある建築物の創造事業」に関する包括的協力、中小企業団体中央会への協力、広島県の文化遺産の利活用に継続的に取り組む為の「ヘリテージマネージャー養成講座」も開設しました。その結果、34名のヘリテージマネージャーを輩出し、マネージャーの活用により、県内各自治体で遺産、文化の保存活動が図られるようになりました。このように、建築士会という組織が会員のためだけに留まらず、広く皆のものになりつつあるように感じています。

また本年は、士法改正が施行となる年でもあります。新しい時代に向かってその意義を考え、日本建築士連合会とも協力しながら、会員はもとより、建築士全体に正しくその意義が伝わっていくよう、公益法人としての役割を果たしていかなければならないと思っています。

私達建築に携わる者は、社会の一員として、これからの多様な問題に真に挑戦し、社会貢献、地域貢献を果たしていかなければなりません。仲間が手を携えて活動し、より良い社会づくりに貢献できることを心から願っています。引き続きよろしくご指導とご協力を下さいますようお願いいたします。

本年が、皆様にとって輝かしい年となりますことを念じて年頭のご挨拶とします。



広島……… 地域担当理事 生田 文雄

昨年は広島支部にとって2つの大きな出来事がありました。一つは8月20日の74人という多くの犠牲者を出した「広島市土砂災害」の発生であり、もう一つは、第26回住生活月間中央イベントの開催に伴い10月11日、12日の両日に開催した、「ひろしま住宅・建築フェスティバル2014」です。

広島市土砂災害の発生に対する災害地への復旧復興においては、広島県・広島市及び他の建築団体と連携をして、広島市の安佐南区、安佐北区に設置された建築相談に参加。被災者の相談及び現地調査の支援を行いました。また、「ひろしま住宅・建築フェスティバル」においては行政及び建築住宅関連団体と連携。会員が力を合わせて取り組み、三笠宮妃殿下をはじめ4,000名を超える多くの皆さんに来場をいただき、大盛況のうちに終えることができました。

この2つの出来事は、本部の公益法人化に伴い活動のあり方を模索している広島支部にとって、他団体との連携や市民交流という新たな今後の展開に大きな示唆を与えたのではないかと思います。今年も会員の皆様とともに広島支部の発展のため、叡知を集めていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いします。

皆様にとって良い年となりますことをお祈り申し上げます。

呉地区……… 地域担当理事 井本 健一

平成26年11月に発表された政府のGDP四半期速報値では、国内総生産がマイナス0.4%で、その内、最も足を引っ張ったのが住宅投資のマイナス6.7%でした。これは、民間予測を大きく下回りました。建築業界ではこの一年、常に人手不足が切実な問題と言いながら、一方で住宅業界では閑古鳥が鳴くという、同じ業界内でもジャンルごとの格差が大きく出た年でした。

我々建築士は技術力、デザイン力のもとより、これから将来にわたって必要とされる技術的ニーズが何であるかを見極め、身に付けることが重要となります。呉地区支部では26年度の「建築セミナー」では青木茂氏をお招きし、「リファイニング建築とは」というテーマで講演会を開催いたしました。ストック活用、リファイニング、リノベーションへの関心の高まりに応える総合力は一つの道筋であるかもしれません。

26年8月に起こった広島市における土石流災害での教訓を生かし、熱さがのど元を過ぎないうちに、それぞれの地域において、防災危機管理について、行政との連携を含め行動を起こすことが急務と感じております。建築士が建物の設計という枠にとらわれず、より社会の役に立つ存在である為の積極的取り組みが求められることになると思います。

東広島……… 地域担当理事 吉川 澄生

私たち東広島支部は、広島支部から独立して今年25年目の節目の年を迎えます。早くも四半世紀が経過しようとしていますが、その間、私が4代目の支部長となるわけですが、3代目・4代目がしっかりしていないとその家系は途絶えると言われているように、先輩諸氏が築き上げた本支部を以下に受け継ぎ、今後いかに展開していくか、新たな年を迎え、身の引き締まる思いがしております。

支部発足はついこの前のような気が致しますが、当時から比べると、私を含め年齢は間違いなく25歳の年を取りました。新規加入者の減少により、会員全体の高齢化が顕著に現れているのが現状だと思います。会の活性化に向けては、若い人達や女性の参画が近々の課題と感じております。

今年の干支は「未年」。羊は草しか食べない優しい動物で群れを成して行動することから、温和で家族（グループ）思いだそうです。25周年という節目の年を迎えるに当たり、干支の「羊」のように、本部との連携を密にし、会員が気軽に楽しく集える新たな事業の展開や、これまで実施してきた事業の充実に向けて頑張っていければと思っています。

この一年、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

三原……… 地域担当理事 村上 浩一

新しい年を迎え、三原支部としては、これまでご協力いただいたベテランの会員を大切にしながらも、若年の会員に参加していただけるような活動を目指したいと考えています。建築士としての情報提供だけではなく、地域に根差した情報や交流を大切にして、より一層現会員や新規会員が参加し、いただける事業を模索しております。20歳代・30歳代の現会員や新規会員が参加できる事業・交流会・青年部の活動にしたいと思っています。

思えば、私が建築士会に入会したころ参加した「中四国ブロック大会」は、とても興奮し、楽しかった記憶があります。今年度行われる「尾道大会」が、参加される会員の記憶に残る大会になるよう、三原支部としても協力したいと思っています。

必要な情報がインターネットで簡単に手に入る状況になった今こそ、地域とのつながり・人とのつながりが大切になっていると思います。

今年一年が皆様にとって素晴らしい一年になりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

尾道……… 地域担当理事 木村 隆治

平成27年新春に当たり、地域活動団体行事計画について抱負を申し述べてみたいと思います。

公益的事業では、引き続き市行政主催「おのみち福祉まつり」に住宅相談会で参加。建築に関するいろいろな要望、質問等を市民の皆様方に説明、答弁し、建築問題について理解を深めていきたいと思っています。

その他、木造住宅耐震診断補助支援活動及び景観・保全の現況調査等についても、今後の災害発生防止対策を尾道市・町内会等に協力を求めて、より一層取り組みを強めていきたいと考えています。

また会員事業においては、公益社団法人広島県建築士会社会活動委員会の青年・女性部会にて、『平成27年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック広島大会』が、夏に尾道で開催されます。開催に当たり、実行委員会の方々は鋭意準備を進め、それに伴い、尾道青年部も持てる力の精一杯で取り組んでおります。歴史のまち尾道に、遠路はるばる楽しみに参加される方々の為にも、尾道支部全員で協力していきたいと思っています。この大会が素晴らしいものになりますように、社会活動委員会のご支援がいただけるようお願い申し上げます。

県北……… 地域担当理事 岡田 治幸

会員の皆様方には日頃より支部活動へのご理解と、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年8月には大雨による広島市の土砂災害が発生し、犠牲となられた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方が一日も早く平穏な日々を取り戻されることをお祈りしております。

昨年を振り返ってみれば、建設業界は相変わらずの資材や人件費の高騰を実感する一年でした。そして建築士会では毎年のことながら、入会者より退会者が圧倒的に多いことから、会員減少が続いております。建築士の年齢構成上やむを得ない現象かもしれませんが、将来技術者不足による深刻な事態が予測されます。官民挙げて若い人たちに建築という仕事の大切さや、素晴らしさを啓蒙していく必要があるのではないのでしょうか。

県北支部は今年も、限られた予算の中ではありますが、地域貢献や会員の皆様のスキルアップのための企画と、楽しんで参加していただけるような活動を計画していきたいと思っています。併せて支部の運営方法も、時代に合わせて見直しを行っていかねばならないと思っています。今後ともご協力の程をよろしくお願いします。

福山……… 地域担当理事 甲田 善久

福山支部は昭和27年に結成されました。以来、多くの先輩諸兄のご尽力により県最東部にありながら、活発な活動で特徴のある支部となっています。これからも、微力ながら福山支部活動を支えて参りたいと思います。

現在、東日本大震災の復興・東京オリンピック・インフラ整備・建物耐震改修などに伴い、今後の私たちの職場は見通しが立てにくく、さらに複雑な環境になると思われます。また、最近の急激な円安進行により、厳しい状況にも陥ると考えられます。そのような中、建設業に携わる技術者の減少、中でも20・30歳代の技術者が特に減少しています。若手技術者の減少は私たち建築士の今後にも深刻な影響を与えることとなります。

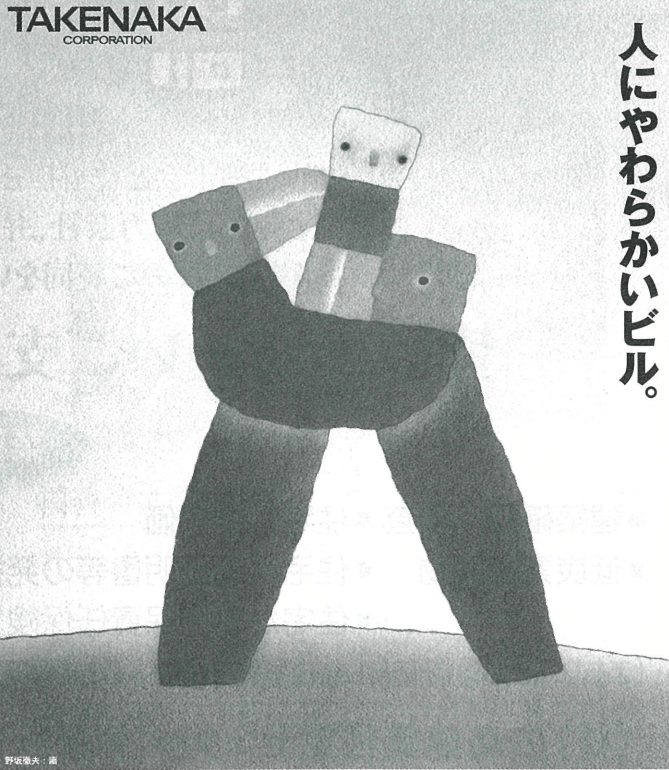
そんな厳しい状況ではありますが、次に挙げる支部活動を通じて、会員の増強を図っていききたいと思います。

◆活発な活動を展開し、多くの人が参加できる支部

◆建築無料相談をはじめ、青年委員会・女性委員会の活動などを通じて、建築士としての職能を生かしながら地域に根差した活動を推進

◆有資格者全員の建築士会入会に対する啓蒙活動

福山支部活動に対してご協力・ご理解をお願いいたします。



人にやわらかいビル。

想いをかたちに

竹中工務店

お問い合わせは 広島部へ
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6610)6140
〒541-0053 大阪府中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605

私たちがめざしているのは
人の感性にもっとやさしく触れてくる街。
そのために、建築の領域を大きく広げ
それぞれの最先端技術に磨きをかけています。

www.takenaka.co.jp

作品紹介 掲載作品の会員紹介

安全で安心な住まいづくりを 私たちがサポートします！



(公社)広島県建築士会と(一社)広島県建築士事務所協会会員をはじめ、
銀行、電力会社、弁護士、会計事務所など、
多くの方々のご賛同をいただき設立した会社です。

皆様の温かいご支援をお願い致します。

業務内容

- 建築確認・検査 ●住宅性能評価 ●フラット35 ●長期優良住宅
- 低炭素建築物 ●住宅性能証明書等の発行 ●リフォーム評価ナビ ●住宅省エネラベル
- 住宅かし担保責任保険 ●すまい給付金の受付

(まもりすまい保険・あんしん住宅瑕疵保険・JIOわが家の保険・ハウスジューメン住宅かし保険・ハウスプラスすまい保険)

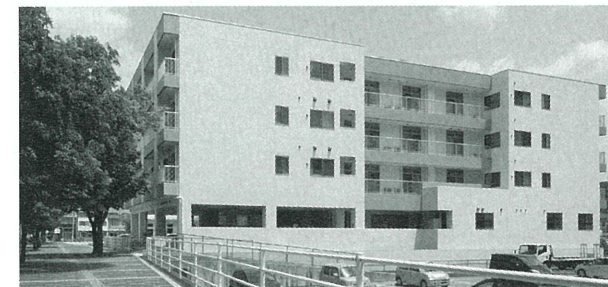
(株)広島建築住宅センター 本社

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
E-mail info@hkjc.co.jp

福山営業所

〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974
E-mail fukuyama@hkjc.co.jp

ホームページ <http://www.hkjc.co.jp>

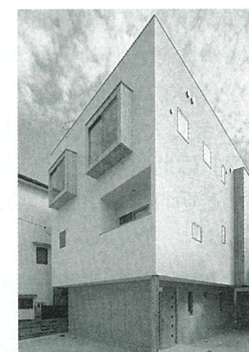


医療法人社団 光誠会 特定施設入居者生活介護
コミュン柏葉 設計

柳河 元木

2014年3月に、(有)大江建築設計室から(有)アリック デザインスタジオへ社名変更を行いました。
医療・福祉・介護・店舗・工場・住宅と、地元の東広島を中心に企画・設計・監理を行っています。

有限会社アリック デザインスタジオ
〒739-0025
東広島市西条中央6丁目31-38セラフィックビル301
TEL 082-423-4757
FAX 082-423-4845
URL <http://www.oe-arc.co.jp>
E-mail yanagawa@oe-arc.co.jp



CUBE SUGAR 設計

橋田 勇人

住宅を中心に設計監理をしています。
現在は、木造の伝統工法での住宅建築へウエイトをシフトしつつあり、日本の伝統技術と現代の機能を高次元で融合する住宅を目指して設計することを目標としています。

有限会社アーボシステム
〒737-0811
呉市西中央4丁目8-1-104
TEL 0823-23-8977
FAX 0823-36-3176
E-mail aabo@h2.dion.ne.jp



福山地区消防組合 北消防署 設計

高橋 啓之

北消防署は1960年(昭和35年)に福山市中心部の防災拠点の一つとして開設し、地域の災害活動に寄与してまいりました。
近年において災害態様が複雑多様化しているなか、危機管理体制の充実が求められております。
新庁舎は今日の消防行政の高度化に対応し各種災害出動に迅速かつ適切に対応できる機能を備えており、また、太陽光発電設備やLED照明など自然環境にも配慮した庁舎となっています。

有限会社高橋啓之設計事務所
〒721-0961
福山市明神町2丁目7-35
TEL 084-920-9123
FAX 084-928-6000
E-mail t-junko@bird.ocn.ne.jp



福善寺本堂改修 設計

米田 雅治

住宅、寺院、古民家改修を中心に活動しています。省エネ、パッシブソーラーハウスを実践する自立循環型住宅研究会と既存住宅改修の専門家の育成と支援を目的とする住宅医協会に所属し日々研鑽を続けています。仕事として関った建築が次世代に橋渡しできるよう心がけています。

米田雅治建築設計事務所
〒722-0035
尾道市土堂2丁目6-18
TEL 0848-23-3720
FAX 0848-23-3782
E-mail m-yoneda@hh.ij4u.or.jp

医療法人社団 光誠会 特定施設入居者生活介護 コミューン 柏葉

東広島地域



平成24年7月に東広島市高齢者福祉計画・介護保険事業に基づき、特定施設入居者生活介護サービス300床の公募が東広島市よりありました。10月、11社の応募の中から5社が運営事業者として決定。その中の1社となることができ、54床の枠を頂きました。7月の説明会から8月の公募書類提出までが1カ月と非常に短い期間の中で、建設地の選定・プラン・工事予算・収支計画書等の作成は非常にきつい作業でした。何とか入札までこぎつけても今度は予算が合わず、設計変更を行いながら当初予定より2カ月遅れましたが、昨年6月に開所しました。施設名の「柏葉」は新芽が出るまで古い葉が落ちないことから、「代が途切れない」という思いを込めて付けられました。



設計監理／(有)アリック デザインスタジオ
 施工／株式会社 NIPPO 中国支店
 所在地／東広島市西条昭和町
 用途／サービス付き高齢者専用住宅
 構造規模／鉄骨造 地上4階 地下1階
 延床面積／4,422.55㎡
 竣工／平成26年4月30日

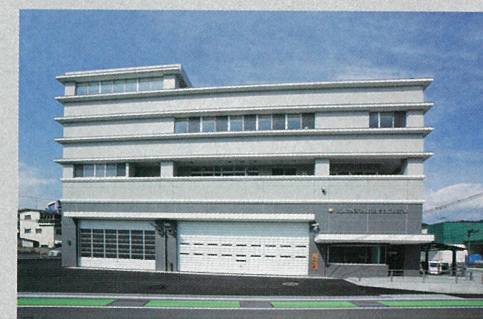
福山地区消防組合 北消防署

福山地域



北消防署は1960年（昭和35年）に福山市中心部の防災拠点の一つとして開設し、地域の災害活動に寄与してまいりました。近年において災害態様が複雑多様化している中、危機管理体制の充実が求められております。新庁舎は今日の消防行政の高度化に対応し、各種災害出動に迅速かつ適切に対応できる機能を備えており、また太陽光発電設備やLED照明など、自然環境にも配慮した庁舎となっています。

設計／(有)高橋啓之設計事務所
 監理／福山市建設局建築部営繕課
 施工／三島産業株式会社
 所在地／福山市奈良津町
 用途／消防署（庁舎）
 構造規模／鉄筋コンクリート造 4階建
 敷地面積／1,610.09㎡
 建築面積／620.04㎡
 延床面積／1,801.66㎡
 竣工／平成25年10月



CUBE SUGAR

呉地域



建築地は呉市中心部ですが、中心部であるために敷地の周囲は建物が密集し、比較的高い建物に囲まれて陽当たりが悪くなり、プライバシーの確保に問題がありました。

クライアントの要望は、明るく風通しの良い家で3世代の家族が楽しく暮らせる家にしたいということ。しかし、家の中にたくさん光を取り入れようとするれば必然、窓を多くする必要がありますが、密集する周辺住宅との兼ね合いで難しい部分があります。

今回の住宅では、敷地内でまず庭を切り取り、その切り取った庭に窓を集中することでプライバシーを確保しつつ、採光を確保しています。こうした計画とした結果、逆に道路側や隣地側に窓が少ない建物となり、街に対して閉鎖的で拒絶した印象を与えかねません。

そこで、外部仕上げは左官によるモルタル塗りで人間の手仕事での温かみと、外壁の塗装を白にすることで街に対して明るい印象を、部分的に木の仕上げとすることで自然の温かみをプラスして周辺へも配慮し、立体的に明るくプライバシーも確保された家としました。



設計監理／(有)アーボシステム 橋田 勇人
 施工／井本建設株式会社
 用途／個人住宅
 構造規模／木造一部鉄筋コンクリート造 3階建
 延床面積／173.06㎡
 竣工／平成25年1月



福善寺本堂改修

尾道地域

設計監理／米田雅治建築設計事務所

施工／株式会社 葉名組

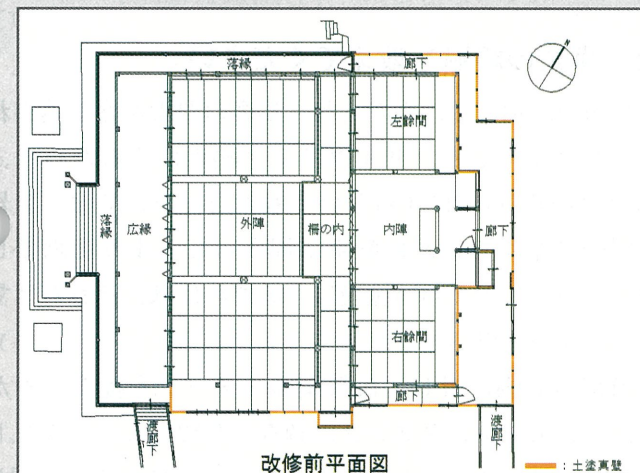
所在地／尾道市

用途／寺院

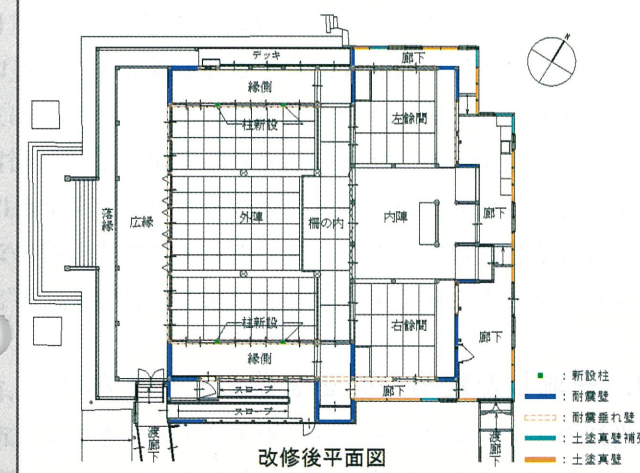
構造規模／木造平屋建て

延床面積／498.67㎡

竣工／平成26年1月



改修前平面図



改修後平面図



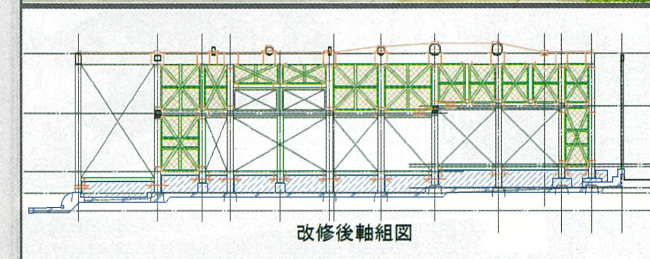
スロープ



筋違とJパネルによる耐震壁



柱廻り基礎立上り



改修後軸組図

築約300年の本堂は、1925(大正15)年、門信徒の急増により、大幅な増改築が行われた。左右広縁を外陣に取り込み、柱を左右2本ずつ撤去し、小屋裏をトラス構造で補強されている。改築前の調査では、足固め、地貫に蟻害、腐朽の個所多数。柱は、改修ごとに傷んだ柱脚を切っているため、礎石を2段に重ねている部分もあった。屋根と天井は20年程前に改修していたため、梁以下の耐震改修と断熱改修、空調設備の追加、バリアフリー化などの改修を行うこととなった。

耐震改修は基礎をベタ基礎とし、短くなった柱廻りを基礎立上りで挟み込み、地貫の代わりとして補強。その際、柱と基礎との間に20mm隙間を開け、通風を取った。壁は耐震壁を増やしたが、それでも耐力が足りないため、90度の筋違で門型フレームのトラス構造として構造計算した。さらにJパネルで両面を挟み込んで補強した。小屋裏の水平構面補強は鉄筋ブレースで補強した。断熱改修は、壁の筋違の隙間に90mmの押出発泡ポリスチレンフォームを充填し、次世代省エネ基準をクリアさせた。

お寺の大規模改修は、3世代先に渡せる改修でなければならない。近年、多くのお寺で門信徒が減っている現状の中、これだけの改修ができたことは幸運であったと思う。

今、瀬戸内海が世界から注目されています。歴史のまち尾道が、「日本再興戦略—JAPAN is BACK—」という大きな流れの中で、少しずつ変化を始めています。

昨年までは、閉鎖された倉庫と人通りの少ない海岸が伸びていた場所が、今年春の「ONOMICHI U2」のオープン以来、人を惹きつける魅力ある場所に生まれ変わり、にぎわいを生み出しています。

ONOMICHI U2

広報委員 山田 晃



U2は、戦時中に建設された海運倉庫の外観を生かしたまま内部改修を行い、複合商業施設として整備されました。整備に当たっては、県と市により企画運営と改修の設計・整備の提案を求める公募型プロポーザルが行われ、選定された設計者（サポーズデザインオフィス）と企画運営者（ディスカバーリンクせとうち）により、施設整備が進められました。実は、このような施設整備の手法は、広島県では前例がありません。

にぎわいを生み出す魅力ある建築がどうやって創られたのか—当時の県担当者である後藤昇さんにその経緯と思いを伺いました。

Q. 最初のきっかけは何ですか？

もともと、U2の横には県営1号上屋がありました。趣のある建物なので、地元の方も残したいと思っていたのですが、県が解体し、現在は駐車場となっています。私が尾道出身であることもあり、せめて2号はなんとかしたいと思っていました。

ちょうど、2号上屋の活用を県港湾部局が検討してい

た時、平成21年11月に湯崎知事が就任。すぐに「海の道構想」を進めるプロジェクトチームに異動しました。最初は私一人で、2月頃、出原由貴さんが加わりました。この2号上屋の仕事は、チームができて一番早い時期にスタートした案件です。

Q. 事業の経過を教えてください。

当初の計画には、人の流れや集客の要素が盛り込まれていませんでした。サイクリング拠点にするために、600台分の駐輪場にするというものだったのです。2号上屋の6割くらいが自転車で埋まってしまう計画でした。しかし、にぎわい施設にするためには、それだけではいけないと思いました。

当初の計画に対し、代替案のイメージを提案するため、建築家やシンクタンクに調査をお願いし、「ランドスケープアーキテクト」の戸田芳樹さんにご協力いただきました。この時のイメージを基に、1年目はボードウォークや駐車場の壁面緑化。2年目に隣接するトイレなどを建設し、最後に2号上屋が整備されました。

プロポーザルの時、私たちはすでに異動してしまっていたのですが、作成したイメージがあったので、文字だけの平板な情報だけではなく、リアルな条件を経営的にシミュレートできる形で示すことができたと思います。

Q. 完成した建物の感想を教えてください。

当初のイメージはヨーロッパやアジアのにぎやかな市場でしたが、完成した建物は、こぢんまりとしたお洒落なレストランという感じですね。

計画立案から完成まで、実に4年半もかかり、その間、「ボンコツ上屋」と批判されたり、計画自体がとん挫してしまいそうな場面もあったそうです。一時は、温泉を掘ってはどうかという話も…。今では尾道の顔となり、あたりまえに建っているU2ですが、この魅力ある建築が生み出される過程の裏では、尾道を愛する担当者の熱い思いと、多くのご苦労がありました。



お話を伺った後藤さん(左)と出原さん(右)

「ONOMICHI U2」にみる地元の想い

尾道支部 米田 雅治

景観地区から外れた「ONOMICHI U2」の周辺は、近年、倉庫や町工場が閉鎖移転する中で高層マンションが多数建設され、イタリアンレストランが開店するなど、尾道で最も街の様相が変わりつつある地域と言えます。夜は暗かった倉庫街に人が集い、明るく賑わいが出てきています。

20年程前になりますが、駅前再開発に合わせて、U2の東隣にあった鉄骨造の上屋1号棟をリノベーションする「アイアン・パルテノン構想」というものがありました。尾道市民の有志が集まり、行政や財界にも働きかけたそうですが、当時は発想が先進過ぎて理解されず、実現されなかったそうです。U2は地元の大きな資本と行政とがタッグを組めばこそできたものではないかと思えます。古い時代の産業遺構を残しつつ、活気を取り戻し、若い人の就業機会が増えていることは喜ぶべきことだと思います。

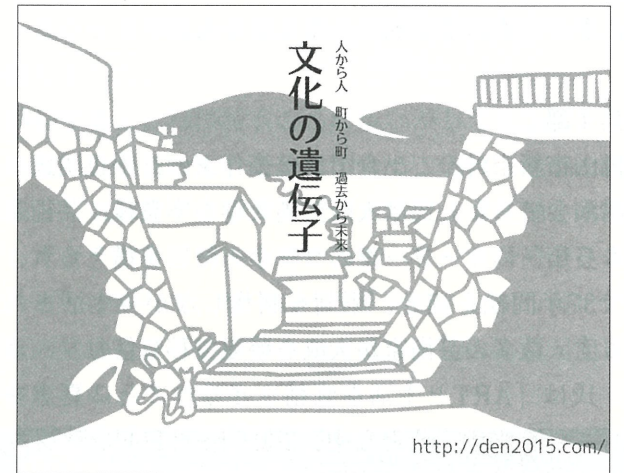
対照的に、旧市街地には「尾道空き家再生プロジェクト」のように、地道なNPO活動でコツコツと尾道の再生にかかわっている若い人たちもいます。海岸通りや商店街、山手には、古いお店や住宅を改装したしゃれたカフェやレストラン等がたくさんできています。

一方、昔は地元の夜の繁華街であった新開地区の地盤沈下は深刻です。高度成長期には造船所で働く数千人のワーカーたちが夜な夜な繰り出し、狭い路地に映画館、パチンコ屋、バーや飲み屋が立ち並び、夜の街は人でごった返していました。今は世代も変わり、古い店は取り壊されて路地空間に空き地が目立ってきています。こういう状況の中、新開も地元住民を中心に再生プロジェクトを立ち上げています。今後の活動に注目したいと思います。

尾道の街並みの変化は、重厚長大の産業構造から、軽薄短小の産業構造へと変貌する日本の産業構造の変化に相応するような変化をしてきています。戦災を免れた尾道にあって、古い建物を生かしながら再生、再構築していくという手法は、尾道のまちづくりに欠かせないポイントであると思います。組織や資本の規模にかかわらず、尾道を愛する多くの人たちがプロジェクトを立ち上げ、日々、尾道のまちづくりにかかわっていることが尾道にとって宝であると感じています。

「平成27年度 青年・女性建築士の集い 中四国ブロック 広島大会」に向けて

広島大会実行委員長 森川 順平



待ちに待った広島大会の年がやってまいりました!! 6月13日(土)・14日(日)の2日間尾道で開催される大会に向けて、2年前から準備委員会を発足し、大会テーマである“人から人 町から町 過去から未来『伝』～文化の遺伝子～”の大会趣旨の骨子を固めました。現在、10数名の実行委員がその趣旨に沿って枝葉を広げ、円滑な運営に必要な作業を掘り起し、日々の仕事と両立しながら行っています。

ロゴのデザインもホームページ (<http://den2015.com/>) も企画も、段取りも他団体等との交渉も、すべて実行委員一人一人のスキルを発揮。このような機会は滅多に味わえない、貴重な経験をさせて頂いているという感謝の思いを持って、鋭意準備を進めています。

大会では、前後1週間で中四国9県の建築士会員および一般参加のNPO法人や学生たちが出展する『まちづくりパネル展』を「しまなみ交流館」1階「市民ギャラリー」で開催。尾道の地で多種多様なまちづくりのケースが紹介できる場としています。1日目は「しまなみ交流館」で、中四国9県の地域実践活動報告会を行い、一般市民の方々へ建築士の地域における活動を知って頂ける場としております。

基調講演では、尾道をこよなく愛する香本昌義氏と稲田全示氏、お二人のお話と映像で尾道を感じてもらいます。そして2日目のフィールドワークで実際に町を歩き、2日間を通して、参加者の五感で思い切り尾道の文化の遺伝子を感じて帰って頂ける大会を目指しています。青年・女性に関わらず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

「野田正明氏講演会」&「平成26年度改正基準法講習会」に参加して

昨年10月14日(木)、「野田正明氏講演会」並びに「平成26年度改正基準法講習会」が開催されました。平日の日中にもかかわらず、建築士の方、一般参加の方など、多くの方にご参加いただきました。

◆第1部

福山市新市町のご出身で、美術作家の野田正明氏による講演会でした。氏は大阪芸術大学を卒業後、芸術家の集まる街・ニューヨークのソーホーに居を構えられ、そこで37年間絵を描き、彫刻を制作しながら生活されています。数多の芸術家が大成を夢見て移り住むソーホーで、氏は「ARTと生活を直結させる」ことに真意を見出していきます。そんな中、2001年9月11日、アメリカ同時多発テロが発生。ソーホー地区からもほど近い場所で、3,000人を超す死者を出したテロという戦争行為を身近に体験し、「不変なものはない(世は無常)」という思いが強まり、戦争を通して自分がいかにして生き延びていくかということを強く意識したそうです。(グラウンド・ゼロには、現在、日本人建築家・槇文彦氏が設計した「4WTC(Four World Trade Center)」というビルが完成しています。)



芸術家が集まるソーホー地区では、街の至る所にARTが散在し、そういった豊かな環境で暮らす中で、特に建築やまちづくりとARTの関係を重要視するようになったと言います。そしてプロジェクトを自ら企画しマネジメントしていくようになり、現在もアメリカを中心にアジアやヨーロッパの各都市に彫刻モニュメントを設置し、展覧会やイベントを通じて国際文化交流を続けていらっしゃいます。

ご自身が携わった世界中の多くのプロジェクトの事例をご紹介いただく中で、とりわけ、我が街の福山駅前に2012年春に設置されたステンレス彫刻モニュメント「いまこそ未来を」が印象的でした。氏は、自分の故郷・福山で建築やまちと芸術を融合したプロジェクトを企画したいと熱く語られました。



「小泉八雲の開かれた精神」
島根県宍道湖畔

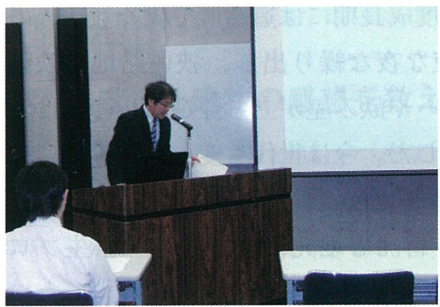
「疾風 フラッシュバック」
広島市南区比治山公園

◆第2部

内容も一転し、平成26年度に建築基準法の一部を改正する法律について、福山市建設局建築指導課長の小森満生さんにご説明いただきました。主だったものとして、

- ①木材の利用を促進するため、耐火構造としなければならない3階建ての学校等についての規制緩和
- ②実効性の高い建築基準精度の構築として、定期調査や報告制度等の強化について
- ③合理的な建築基準制度の構築として、構造計算適合性判定制度の見直しや新技術の円滑な導入に向けた仕組み、エレベーター昇降路部床面積の容積率緩和等について

これらを、スライドを交えながら解説していただきました。



主旨の異なる講演会と講習会の組み合わせでしたが、常に物事を多面的に捉える鍛錬を積むべき建築士にとって、とても有意義な時間になったように思われます。

第2回体験学習会報告 ～柿渋染めをしてみよう～

福山支部女性委員会

昨年10月26日(日)に前年の柿渋体験の第2回目となる体験学習会を開催しました。前回は「一閑張り」を作成しましたが、柿渋を使うところまではできなかったのが、今回は実際に柿渋を使って、「柿渋染め」を体験してもらうことにしました。

場所は、「NPO法人 ぬまくま民家を大切にする会」の事務局である民家をお借りして、柿渋も「まめ柿」から作った「備後渋」を提供していただきました。まめ柿で作る備後渋は、日本三大柿渋として名産だったにもかかわらず、現在はまめ柿の木を探すのも大変だと聞きました。「ぬまくま民家を大切にする会」はその備後渋の保存と、柿渋製造の継承、活用の啓蒙活動をしておられます。



講師には志和で染物作家をされている出本正彦先生を、「ぬまくま民家を大切にする会」からご紹介いただきました。当日の参加者は12名。初めに、講師の先生から柿染めのやり方と合わせて、柿渋染めの生地で作った作品の紹介をしていただきました。染め方や染める物で風合いが違ふこと、日光に当ててみないとどんな風合いでどんな色が出るかわからないことなどの話を伺いました。昨年の「一閑張り」の時は、柿渋を塗るのは暖かい季節の方がよく色が出るとのことでしたが、布を染めるのは暑くない季節の方が良いとのことでした。



話しがひと通り終わった後は、実践です。今回は30cm×150cm程度のガーゼ生地を染めます。まず絞りの模様を入れた人はゴムで縛ってみたり、生地を直接縛ってみたりと下準備をして、庭の柿渋が用意してある所へ移動しました。

移動すると、柿渋特有のあの臭いがしてきました。でも心配はいりません。ここは田舎で、周りに迷惑を掛けることも気にせずに作業ができます。まず生地を水で濡らしてよく絞り、柿渋を薄めた液へ2～3分浸け込みます。あとは絞って、物干しへ干すだけ。しかし浸けたすぐ後の生地は少し色が付いただけで、皆さん色が出るか半信半疑のようでした。



生地を干す間に、中でお茶をいただきながら参加者の皆さんと座談会が始まりました。色が抜けたズボンを柿渋で染めたらどうなるか、色を濃くするには原液へ浸けたらどうか等々。柿渋が建築材料として使われていた説明をすると、家のデッキの塗装がはげたから柿渋を塗っても良いとか、いろいろな質疑が飛び交いました。

程良い時間となり、物干しの作品を取り込みに行ってみると、ほんのり色が濃くなってきていました。まだ完全には乾いていないので、それぞれ持ち帰って、乾燥するまで家干しをお願いして終了しました。この季節だと完全に色が出るまで1週間程とのことでした。どんな色になるか楽しみです。

アンケートでも、参加者の皆さんに楽しんでいただけたようで、よかったです。



地域だより
呉

「身近な防災を楽しく学ぶ」その2 日頃からの備え～非常食と紙ぶるる～

呉地区支部青年委員会 助永 登志雄

昨年10月4日、第2回目の「身近な防災を楽しく学ぶ」講習会を開催しました。「紙ぶるる」等による耐震の講習と、災害への備えとして、普段の生活にもなじむ保存食づくりと市販の保存食の試食を行いました。

まず「紙ぶるる」を使って筋交や壁補強の意味と耐震の重要さを学び、広島県から借り受けた「倒壊ぶるる」で筋交や壁補強の有無による揺れの違いを見てもらいました。阪神大震災では死因の9割近くが建物の倒壊による圧迫死であった事例などから、新耐震以前の建築物の耐震改修や耐震診断の重要性も紹介しました。

次に、作りやすくおいしく、保存もできるラスクを作り試食しました。災害用の非常食を随時交換していくことは長続きしにくいようですが、普段口にするものを消費期限が来る前に食べ回して備蓄していく、「ローリングストック方式」なら続けられるはずですので、このローリングストックが可能な料理の紹介のほか、水またはお湯で作れる市販の保存食も試食しました。最近、おいしい保存食が多く市販されていますので、そのことを知ってもらい意味でも良い機会になったと思います。

災害は、いつ、どこで起こるか分からないため、日頃からの備えは重要ですが、一人でも多くの人を救える街づくりは、建築士の使命の一つでもあります。2カ月連続で行った今回の講習が、実際に役立ってほしいと思っています。



地域だより
尾道

住宅相談会

尾道支部 簀 秀治

昨年10月19日(日)、「尾道市総合福祉センター」において開催された「おのみち福祉まつり」の中で、広島県建築士会尾道支部と尾道市の共催による「住まいに関する何でも相談会(住宅相談会)」を実施しました。この相談会は、尾道支部の活動報告や耐震等に関する啓発を目的に、平成19年から毎年実施しているものです。

今年度の住宅相談会では、住まいに関する相談コーナーを設置し、パンフレットや啓発チラシの配布、耐震模型による耐震実験の実演、大地震による加震実験映像の上映等を行いました。また、尾道市耐震診断補助事業の希望者を募るため、耐震模型を使って筋交いの違いによる建物の耐震性を実感していただくなど、来場者が住宅の耐震化の必要性をより認識できるような説明を工夫しました。今回は建築士会青年部による「災害アンケート」を実施し、アンケートに回答していただいた方には紙製耐震模型『紙ぶるる』を記念品として配布しました。なお来場者全員に、記念品として鉛筆・風船等を配り、大変好評でした。

この住宅相談会は、「おのみち福祉まつり」の一環として開催したこともあり、子どもから高齢者まで千人を超える多くの方にご来場いただきました。回を重ねるごとに定着した感もありますが、来場者の方々については耐震に関する関心が以前より高まってきたとはいえ、まだまだ低いという印象を受けました。

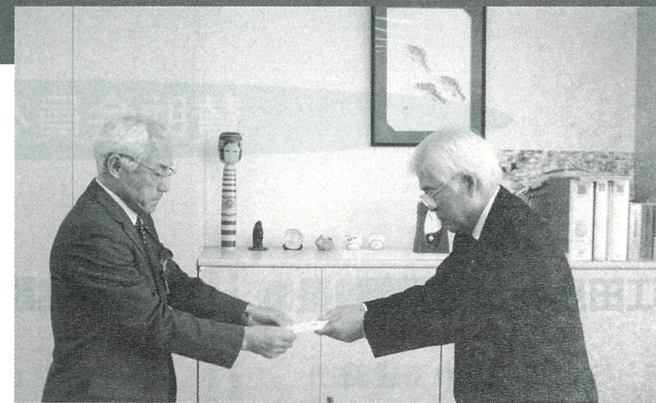


広島土砂災害に対する義援金について

昨年8月に発生した広島土砂災害への皆様からお預かりした義援金を集計しましたので、下記のとおり報告します。ご協力ありがとうございました。

- 広島県建築士会・会員有志 289,100円
- 大分県建築士会より 28,080円
- 日本建築士会連合会より 200,000円

合計 517,180円を、広島市を通して被災者の皆様にお届け致しました。



11/21 元廣会長より広島市都市整備局・佐名田指導担当局長にお渡ししました

CPD認定プログラム(1月～3月の広島県内実施分)

12月11日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
1/14	現場代理人養成講座【A-午前コース】	3	建設情報化協議会	03-5294-6200
1/14	現場代理人養成講座【B-午後コース】	4	建設情報化協議会	03-5294-6200
1/14	現場代理人養成講座【C-終日コース】	7	建設情報化協議会	03-5294-6200
1/14	フラット35木造住宅工事仕様書改正・長期優良住宅等講習会	3	広島建築住宅センター	082-228-2220
1/21	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-05)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/12	建設工事実務講習会	6	日本建築協会中国支部	082-232-6471
2/18	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-06)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/20	IT活用による現場の業務効率化・その他	6	インターウェーブ	099-812-0677
3/13	「三方良し」の「プロセス管理」で工事成績向上	6	インターウェーブ	099-812-0677

第57回 建築士会全国大会「ふくしま大会」に参加して

呉地区支部 交流厚生委員会 原田 聖将

昨年10月24日・25日、『建築士の決断「ならぬことはならぬものです」ふくしまで語ろう 建築・絆・再生』をテーマに、全国大会が行われました。

初日は、「防災・減災まちづくり」というセッションに参加しました。特に興味深かったのは、女性委員会の活動報告「安全なくらし」でした。子どもたちを放射線リスクから遠ざけるために住宅を工夫しようという、様々な建材を使った調査実験の報告で、実際に2棟の大型住宅模型による実証も行ったそうです。この地を将来の子どもたちに残したいという、強い気持ちを感じられました。

その後の、フラガールの登場からスタートした大会式典では、表彰式などが行われ、次回開催県の石川県に大会旗が渡されました。

2日目は、福島第一原発付近の町をバスの中から、地元の方々のご案内で巡る「東日本大震災からの双葉郡の復興を考える現地視察」に参加しました。移動中、簡易放射線量計の警告音が鳴るたびに、私たちは言葉を失い、案内の方の「バスのまん中に集まって息を止めてください」との冗談にも全く笑えませんでした。しかし、後で

教えていただいた、日本人が1年間に受ける放射線量の平均などの情報によると、私たちが受けた線量は、実際に笑えるほどのものでしかなかったようです。

各町を見て回り、Jヴィレッジでの昼食後、意見交換がありました。地元の方は、いまだに震災のことを話すと言葉に詰まるようで、「なんで俺たちだけが」という悔しさもずっとしりと伝わってきました。

私は、正しい情報を地元を持ち帰り、風評被害を正していくという使命を与えられたと感じました。今回教えていただいた放射線のことなどを、できるだけ多くの人に知ってもらい、福島の情報にもきちんと耳を傾けてもらうようにしていこうと思っています。



既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

(既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入)

- 指定確認検査機関
- 登録建築物調査機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 住宅エコポイント関連業務
- 登録住宅性能評価機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 調査診断業務(耐震診断等)
- すまい給付金関連業務

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石 山 講

- 指定構造計算適合性判定機関
- 長期優良住宅認定審査業務
- 耐震診断判定業務

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0029 広島市中区三川町7-1

TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京

営業所:呉

賛助会員を紹介します

江田島都市整備課

市長 田中 達美

〒737-2392 江田島市能美町中町
4859-9
☎0823-40-2773
http://www.city.etajima.hiroshima.jp

大之木建設(株)

取締役社長 大之木 雄次郎

〒737-8502 呉市中央
3-12-4
☎0823-26-1511
http://www.onoki.co.jp

(株)KI works

代表取締役 井手口 耕三

〒733-0815 広島市西区己斐上
2-69-16
☎082-881-1321

坂町役場

建設部産業建設課

町長 吉田 隆行

〒731-4393 安芸郡坂町平成ヶ浜
1-1-1
☎082-820-1510
http://www.town.saka.hiroshima.jp

(株)ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

〒730-0029 広島市中区三川町
7-1 SK広島ビル4F
☎082-546-1378
http://www.jesupport.jp

(有)ジブ建築設計工舎

代表取締役 多森 治義

〒734-0052 広島市中区千田町
3-13-11
☎082-545-8251
http://www.jib-art.co.jp

(株)新広島設計

代表取締役 錦織 亮雄

〒730-0042 広島市中区国泰寺町
1-8-30
☎082-243-2751
http://www.shinhiro-sekkei.co.jp

(株)杉田三郎建築設計事務所

代表取締役 杉田 輝征

〒730-0012 広島市中区上八丁堀7-5
☎082-228-2345

(株)砂原組

代表取締役社長 中川 博司

〒730-0047 広島市中区平野町1-16
☎082-243-7424
http://www.sunahara.co.jp

日建学院広島校

(株)セイブコーポレーション

代表取締役 仲西 毅

〒730-0016 広島市中区幟町14-11
ウィング八丁堀ビル 8F
☎082-511-5515

総合資格学院

広島支店

学院長 岸 隆司

〒730-0037 広島市中区中町7-35
和光中町ビル 4F
☎082-542-3811
http://www.shikaku.co.jp

大成建設(株)

中国支店

執行役員支店長 矢口 則彦

〒730-0041 広島市中区小町
2-37
☎082-242-5301
http://www.taisei.co.jp

中国電力(株)

管財部門(建築)

部長 原 弘明

〒730-8701 広島市中区小町4-33
☎082-544-2519
http://www.energia.co.jp

(株)中電工

広島統括支社

取締役支社長 西村 康一

〒734-0007 広島市南区皆実町
1-9-35
☎082-256-0719
http://www.chudenko.co.jp

(株)ティーエス・ハマモト

代表取締役 濱本 利寿

〒731-0135 広島市安佐南区長束
4-16-2
☎082-238-1511
http://www.ts-h.co.jp

TOTO(株)

中国支社

支社長 岩崎 亨

〒734-0014 広島市南区宇品西
4-1-36
☎082-505-1029
http://www.toto.co.jp/

東リ(株)

広島営業所

所長 古川 誠二

〒733-0002 広島市西区楠木町
3-16-12
☎082-239-2858
http://www.toli.co.jp

(株)長崎塗装店

代表取締役 長崎 邦彦

〒733-0036 広島市西区観音新町
1-7-24
☎082-233-5600
http://www.nagasakitoso.co.jp

(株)長沼電業社

代表取締役 長沼 毅

〒730-0036 広島市中区袋町6-14
☎082-248-2501
http://www.naganuma.co.jp

(株)日経ビーピー

代表取締役 長田 公平

〒108-8646 東京都港区白金1-17-3
☎03-6811-8000
http://kenplatz.nikkeibp.co.jp

日本ERI(株)

広島支店

支店長 倉橋 陽介

〒730-0013 広島市中区八丁堀
14-4-3F
☎082-211-5500
http://www.j-eri.co.jp

日本住宅パネル工業(協)

西日本支所広島営業所

営業所長 棧敷 重和

〒733-0841 広島市西区井口明神
1-14-43
☎082-270-3700
http://www.panekyo.or.jp

ハウスプラス中国住宅保証(株)

代表取締役社長 宮崎 弘起

〒730-0042 広島市中区国泰寺町
1-3-32
☎082-545-5607
http://www.jutakuhosho.com

広島ガス(株)

家庭用エネルギー営業部

執行役員
家庭用エネルギー営業部長 小原 健太郎〒734-8555 広島市南区皆実町
2-7-1
☎082-251-2151
http://www.hiroshima-gas.co.jp

(株)広島建築住宅センター

代表取締役 栗栖 繁

〒730-0013 広島市中区八丁堀
15-10-3F
☎082-228-2220
http://www.hkjc.co.jp

(株)プレック

取締役社長 上山 雄二

〒732-0068 広島市東区牛田新町
2-4-19
☎082-228-6638
http://www.prechouse.com

(株)ミヤジ

代表取締役社長 宮地 宏治

〒722-0051 尾道市東尾道9-10
☎0848-20-2111
http://www.e-miyaji.com

(有)元廣建築設計事務所

代表取締役 元廣 清志

〒722-0037 尾道市西御所町6-15
☎0848-23-5300
http://www.urban.ne.jp/home/madesign

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)

認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベル

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぽりカバーしています

Energia 中国電力グループ
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
http://www.jutakuhosho.com/広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル 1 階
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608
広島北支店：広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL：082-832-3310 FAX：082-875-4330
福山支店：福山市西深津町 1-10-1 TEL：084-973-9143 FAX：084-973-9146

株式会社 ティーエス・ハマモト

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得

大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工〒731-0135 広島市安佐南区長束 4 丁目 16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513